

講義名	中国語 A		
科目区分	グローバル		
担当教員	程 遠輝		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

中国語の発音から始め、新しい単語や文法事項、コミュニケーションするための簡単な表現を学んでいきます。練習問題を通して、「学習者中心」のアクティブ・ラーニングを実現するような授業展開をします。将来、中国語を学習するための基礎能力を身につけます。

到達目標

本科目の学習目標は、異なる文化を理解し、自分の考えを的確に伝えるコミュニケーション力の育成を目標にします。

1. HSK 1級に合格するレベルの中国語の応用能力を身につける。
2. 非常に簡単な単語とフレーズを理解、使用することができる。
3. 自分自身のことや日常生活に関して、具体的なコミュニケーションを行うことができる。

提出課題

パフォーマンス課題① 家族を紹介しよう
パフォーマンス課題② 自己紹介をしよう

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

小テストを定期的実施する他、課題の提出も求められます。

評価の基準

評価の方法と配点は次のとおりです。

平常評価
① 受講態度 30点
② 小テスト+課題 30点
③ 期末試験 40点

履修にあたっての注意・助言他

中国語初心者向けの授業です。初回の授業でオリエンテーションを行いますので、履修希望者は必ず出席してください。

教科書	.使って学ぶ!中国語コミュニケーションーCEFR A1レベルー、 寺西光輝 朝日出版社 2,300

プリント資料及び参考文献

授業計画

1. 単母音、声調、複母音の学習
2. 子音、鼻母音の学習
3. 声調変化とピンインのまとめ
4. 第0課 名前について話す
5. 第1課 身分や出身地について話す
6. 第2課 身の回りの物や人について話す
7. 第3課 年齢や学年、所有について話す
8. 第4課 時間や一日の行動について話す
9. 第5課 性質や状態、天候について話す
10. 第6課 趣味や好み、できることについて話す
11. 第7課 住んでいる場所や家族について話す
12. 第8課 場所や存在について話す
13. 第9課 交通手段や希望について話す
14. 第10課 動作の発生や進行について話す
15. 学習の振り返り

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
○ エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

復習：今回の内容の復習 (120分)
予習：次回の内容の予習 (120分)

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考